

蛍光標識プローブ検出系リアルタイムPCR用マスターミックス

DirectAce qPCR Mix plus ROX Tube

Code No.	製品名	容量	希望納入価格(税別)
318-07751	DirectAce qPCR Mix plus ROX Tube	200反応用	75,000円

本品は、クルードサンプル（例：食品等の粗抽出DNA溶液）を鋳型DNA溶液とすることができ、リアルタイムPCR用サーマルサイクラーに対応した蛍光標識プローブ検出系のリアルタイムPCR用マスターミックス（2×濃度）です。

試薬が小分けされており、操作性に優れています。ROXによる補正を必要とする装置にも対応するように50 × ROX Passive Referenceが添付されています。

本品は、(株)島津製作所の Ampdirect®* をベースに、専用のホットスタートPCR酵素を組合せて最適化したもので、PCR阻害物質の影響を抑制することにより、様々な生体試料からDNAを精製することなく蛍光標識プローブアッセイを行うことができます。

* Ampdirect®は、(株)島津製作所の商標です。



特 長

- ・粗抽出核酸溶液からダイレクトにリアルタイムPCRが可能
- ・ドデシル硫酸ナトリウム (SDS) 存在下 (0.1%) でも増幅可能
- ・ROX Passive Referenceが別添付
- ・予め小分け済みの2×マスターミックスで操作が簡便

製品構成

- | | | | |
|---------------------------------|--------------|--------|-------------------------|
| ・ 2 x DirectAce qPCR Mix No ROX | 1.25 mL × 4本 | 【使用回数】 | 200反応用 (50 μL反応系で使用の場合) |
| ・ 50 x ROX Passive Reference | 0.2 mL × 1本 | 【保存温度】 | −20℃ |

注意事項

- ・ 本品は、蛍光標識プローブとしてMGB (Minor Groove Binder) 構造を有するTaqMan® MGBプローブのご使用には適しておりません。(TaqMan®は、Roche Molecular Systems 社の商標です。)
- ・ 本品は、リアルタイムPCR用サーマルサイクラーでのランモード「Fast」の標準プロトコル*には対応しておりません。
* [95° C 20秒 → (95° C 3秒 → 60° C 30秒) × サイクル]
- ・ 本品には、dUTPは含まれていないため、Uracil-N-Glycosylaseによるキャリーオーバー処理はできません。

DirectAce qPCR Mix plus ROX Tube は、消費者庁「別添 安全性審査済みの遺伝子組換え食品の検査方法」（2021年9月15日最終改訂版）において、トウモロコシ穀粒の粒単位検査法及びグループ検査法に収載されました。

本製品は、農林水産省委託事業「新農業展開ゲノムプロジェクト」（GMO評価・管理）GAM-211のもと、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所、株式会社島津製作所、株式会社ニッポン・ジーンが開発を行いました。

DirectAce qPCR Mix plus ROX Tube

実験例1

HeLa細胞から抽出したRNAのリアルタイムPCR (1 Step RT-qPCR)

「DirectAce qPCR Mix plus ROX Tube」 (Code No. 318-07751)と逆転写酵素「GeneAce Reverse Transcriptase」 (Code No. 316-08151)を組み合わせることで反応液を調製し、1 Step RT-qPCRを行った。

■ 鋳型RNA調製

HeLa細胞 (1x10³、1x10²個)から簡易RNA抽出試薬「Template Prepper for Cell RNA」 (Code No. 318-09451)を用いて、鋳型RNAを調製した。

■ 反応液調製

試薬	<20 μ L反応系>
2 x DirectAce qPCR Mix No ROX	10 μ L
50 x ROX Passive Reference	0.04 μ L
GeneAce Reverse Transcriptase	0.5 μ L (12 units)
10 μ M Forward Primer	1 μ L
10 μ M Reverse Primer	1.4 μ L
10 μ M TaqMan® Probe	0.4 μ L
Template RNA	2 μ L
d.d.H ₂ O	up to 20 μ L

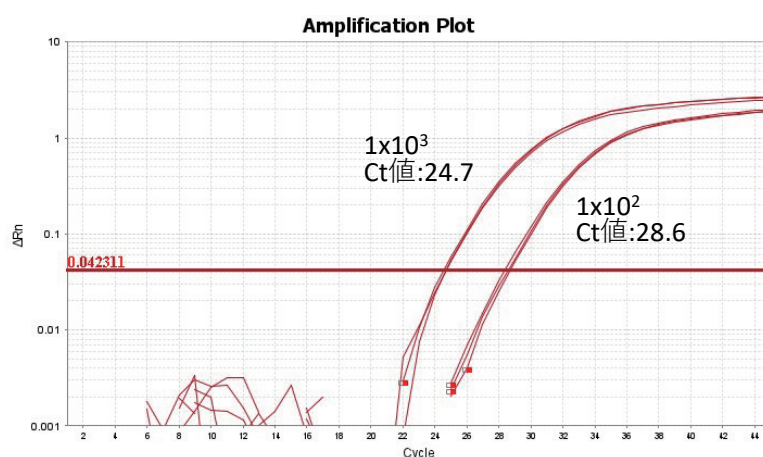
■ 反応条件

PCRサイクル:
45°C 30分 (逆転写反応)
95°C 10分 (初期活性)
95°C 30秒
60°C 1分 } 45サイクル

装置: QuantStudio® 5

■ 結果

簡易RNA抽出試薬で抽出したRNAを鋳型に、本品「DirectAce qPCR Mix plus ROX Tube」と逆転写酵素「GeneAce Reverse Transcriptase」を組み合わせることで反応液で1 Step-RT qPCRを行うことができた。



【抽出試料】

HeLa細胞 (1x10³、1x10²個)

【鋳型RNA】

2 μ L添加 / 20 μ L反応系

【増幅対象】

GAPDH mRNAの一部 (140 bp)

- 掲載の価格は2025年10月現在の希望納入価格(税別)です。最新情報は弊社HPをご確認ください。
- 本文に記載しております製品は試験研究用試薬です。医薬品の用途には使用しないでください。
- 表示価格に消費税は含まれておりません。

製造元 株式会社ニッポンジーン

〒930-0834 富山市問屋町二丁目7番18号
TEL: 076-451-6548 FAX: 076-451-6547
URL: <https://www.nippongene.com>

販売元 富士フイルム 和光純薬株式会社

本 社 〒540-8605 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 TEL: 06-6203-3741 (代表)
東京本店 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目4番1号 TEL: 03-3270-8571 (代表)
フリーダイヤル 0120-052-099 フリーファックス 0120-052-806